THE ENVIRONMENT & AGRICULTURE NEWS

環境農業新聞

メール：ecoagri@pure.ocn.ne.jp

2013年（平成25年）
11月30日（土）
第143号

毎月30日発行
平成13年4月17日
第三種郵便物認可

発行所　環境農業新聞社
編集発行人　成瀬一夫
東京都墨田区東金町1-41-9
〒125-0041　フランス堂ビル3階
電話　03-3826-5212
FAX　03-3826-5217
年間購読料　3,000円（税・送料込）
郵便振替口座　00150-2-290578

主な記事

○…ホメオパシーの時代到来…（1面）
○…御池、創業60周年…（3面）
○…エコ・フライヤーの和合社長に聞く…（4面）
○…日本再生の切り札が出来た！…（6面）

ホメオパシーの重要性を認識

日本経済懇話会11月度月例会

医療、農業活動に共鳴

由井寅子氏を講師に開催

一般社団法人日本経済人懇話会は18日午後6時30分から東京・港区赤坂の「ホテル　アジア会館」において11月度月例会を開催した。毎回、著名人を講師に招いて行っているが、今回は日本ホメオパシー医学協会会長、カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー学長、農業生産法人日本農場自然農機代表の由井寅子氏。テーマは自然療法ホメオパシーを通して『自然型農業こそ日本復興の道』。世界で10億人が使用するホメオパシー療法と命を大切にする女性的農業を展開している由井氏の話に熱心に耳を傾ける参加者は魅入っていた。会場満席でも足りないほどで約200名近い人が参加した。ホメオパシーの活動をDVDで紹介し、さらにホメオパシー療法について詳しく説明。出席者は初めて聞いた人が多く、医療の分野でのホメオパシーの重要さを改めて知ったようだった。医師である高橋クリニックの陰山康成医師は「ホメオパシーの時代が来る」と絶賛していたのが印象的であった。

日本では、まだまだ知られていないホメオパシー療法だが、世界では10億人が使用し、欧州では42カ国以上で使用されている。イギリスでは4ヶ所にホメオパシーの病院があり、現代医学で治らない場合はホメオパシーへ送るというシステムがある。エリザベス女王の主治医もホメオパスであり、王室でもホメオパシーをしている。女王自身も常にホームキットを持って動いているという。また、イギリスのブリストルホメオパシー病院のデータでは、患者のホメオパシー使用後の明らかに良くなった改善例を会場で示した。

インドでは第一医学がホメオパシーであり、現代医学の勉強をした者がなればよい。現代医学を否定しているわけでなく、自己治癒力を使ってゆこうというのがホメオパシーのスタンスで、それでだめなら病院や老舗に行けばよいという考えで、検査も手術も現代医学はすばらしいと思いますと話した。

最も安全な医学

ホメオパシーはガンジーが医学として「最も安全な医学」であるとしたのは、同種療法であり、使われる物質が薄くなるまで希釈浸透させて使うからである。日本にも古くから同種療法があり、例えば喉がヒリヒリする時にはヒリヒリするしょうが湯を、熱がでたら布団を掛けよう、卵酒を飲む、熱には熱、火傷をしたら「痛くなくなれ」と痛くなくなれ」と唱えながら患部を触ってゆくなどである。

また、安全な野菜作りにも力を注いでいる。ホメオパシーをとっても治らないアトピーの子供が、新鮮で安全な野菜を食べることで見る見る治ってしまったことを見て考えてきたことを語った。

さらに3月11日の東北大震災で被災したホメオパシーの会員さんに野菜、水、レディーメイドの支援物資を届けるとまず20箱の野菜の箱がなくなる。次に水、そしてレディーメイドに一番必要なのは、レメディーより健康を取り戻すために安全な野菜だということがわかり、東北の大震災の5カ月後に農業生産法人日本農場自然農機を立ち上げたと話した。

2時間にわたる講演により、初めてホメオパシーに触れた参加者は、ほとんどが、名刺交換が最後まで続いた。最後に中締めが行われ、本紙成瀬社長挨拶し、NPO法人元気象農業開発機構の坂本圭資副理事長が「由井先生の講演は素晴らしかった。今日参加された方はこれからホメオパシーを始めようかと考えていた。

ホメオパシーを分かりやすく説明する由井氏

満席の会場、月例会盛況！

ホメオパシー　役割が大きくなる

高輪クリニック　陰山康成医師

自然農法で生産した農産物で料理したご馳走がテーブルに並べられた会場で懇親会を行った。その冒頭、品川高輪クリニックの陰山康成医師が挨拶した。

「今、TPPによって日本の医療が大変な厳しい状況になってきている。来年から一部、2015年から株式会社が医療経営をはじめる。外資系の大きな資本によって日本の医療経済が乗っ取られると日本医師の会長が発表している。医療保険システムがアメリカと同じになり、アメリカの保険と同じとなると入院した時に一泊20万円かかる状況になる。

このようなことを考えると、ホメオパシーになるべく来ないで、ホメオパシーをやっていけないという世界ではなく、鍼灸と一緒にホメオパシーを共存させて行くことが基本的に医師の役割であった。

ホメオパシーは、ホメオパシーを使うことで病気にならない予防医学であり、病気になった場合でも、ホメオパシーを使うことで治癒力を高めて治すことができる。